様式３(2020.06改)

作成日　令和　3 年　11 月　22 日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390700207
事業所名	えくせれんと鶴舞

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	町内会に加入、回覧板が回ってくる。 散歩などで近隣住民と挨拶を交わしている。 今年度はまだできていないが、ボランティアや職場体験の受け入れなどを復活させる予定。 消防団に入っている職員もいる。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	今年度も二カ月ごとに運営推進会議を開催するものの、新型コロナによる制限があり、メンバーに来所してもらえなかったが、議題、議事録を郵送し、電話連絡をとっていた。 制限が緩和されてきたので、ちょっとした講座や体験参加型の会議の在り方も含め、従来のように集まって会議する方針にもどしていく予定である。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	区の担当者やいきいき支援センターとは報告や相談で連携をとっている。 行政の主催する研修に職員が参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	事業所便り「広報つるまいタイムス」を毎月発行し、家族へ送付している。その中で利用者の様子や行事を写真で載せてわかりやすく家族へ伝えている。 電話やラインも活用し、介護計画の見直しや持ち物の入れ替えなど各種連絡時も使って家族とコミュニケーションをとり意見や要望をきくようにしている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価								―	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○									